

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	佐賀大学
設置者名	国立大学法人佐賀大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計			
教育学部	学校教育課程	夜・通信	30	27	0	57	13		
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	夜・通信		2	0	32	13		
経済学部	経済学科	夜・通信		10	0	40	13		
	経営学科	夜・通信		10	0	40	13		
	経済法学科	夜・通信		10	0	40	13		
医学部	医学科（新カリキュラム）	夜・通信		0		124	154	19	
	医学科（旧カリキュラム）	夜・通信				100	130	19	
	看護学科	夜・通信				139	169	13	
理工学部（新課程）	理工学科	夜・通信		2	28	60	13		
理工学部（旧課程）	知能情報システム学科	夜・通信		0	0	30	13		
	機能物質科学科	夜・通信		0	0	30	13		
	電気電子工学科	夜・通信		0	0	30	13		
農学部（新課程）	生物資源科学科	夜・通信	0	0	30	13			
農学部（旧課程）	生物環境科学科	夜・通信	0	0	30	13			
（備考）理工学部（旧課程）、農学部（旧課程）は平成30年度で学生募集停止 理工学部（新課程）、農学部（新課程）は平成31年度から学生募集開始 医学部医学科（旧カリキュラム）は令和4年度入学者まで 医学部医学科（新カリキュラム）は令和5年度入学者から									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ

<https://www.saga-u.ac.jp/koukai/shugakushien.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	佐賀大学
設置者名	国立大学法人佐賀大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ：<https://www.saga-u.ac.jp/saga-u/history.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	国立大学（他法人）副学 長	令和7年4 月1日～令 和7年9月 30日	財務・施設
非常勤	一般企業社長職	令和5年1 0月1日～ 令和7年9 月30日	渉外・連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐賀大学
設置者名	国立大学法人佐賀大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学生に対して、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を明示することは、「佐賀大学学則」および「佐賀大学における学修成果にかかる評価の方法と基準の周知及び成績評価に関する情報の開示に関する要項」にて定められている。各授業科目の担当教員は、「シラバス作成の手引き」に沿って、必要な事項を記載した授業計画(シラバス)を作成する。作成したシラバスは、「シラバスの点検及び改善に関する要項」に基づいて開講部局において組織的に点検・修正され、佐賀大学教育委員会によるサンプル調査等の検証を受ける。上記によって内容の確認を行ったシラバスを当該年度の前年度3月末日を目途に公表している。	
授業計画書の公表方法	https://lc2.sc.admin.saga-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_21/init
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目の担当教員は、シラバスに明示している成績評価の方法と基準に沿って、「佐賀大学学則」および「佐賀大学成績判定等に関する規程」に定める評点又は評価基準に基づき、厳格かつ適正に成績を判定している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価における客観的な指標として、「佐賀大学における成績評定平均値に関する規程」により GPA を算出し、公表している。

※佐賀大学における成績評定平均値に関する規程抜粋

(趣旨)

第1条 この規程は、佐賀大学（以下「本学」という。）における成績評定平均値（グレードポイントアベレージ。以下「GPA」という。）の取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において「GPA」とは、各授業科目の5段階の成績評価に対応して4～0の評点（グレードポイント。以下「GP」という。）を付与して算出する1単位当たりの評定平均値をいう。

2 この規程において「学部等」とは、各学部、教養教育センター及び各研究科をいう。

3 この規程において「学科等」とは、各学科、各課程、各コース及び各専攻をいう。

(対象授業科目)

第3条 GPAの算出の対象授業科目は、学部等の5段階評価を受けた授業科目とする。ただし、成績の判定に当たり、合又は不可の評語をもって表す授業科目及び本学以外で修得した授業科目又は入学前に修得した授業科目は、GPAの算出の対象授業科目としない。

(配点)

第4条 評価された成績の段階ごとに、次に掲げるGPを配点する。

- (1) 秀 S (90～100) GP=4
- (2) 優 A (80～ 89) GP=3
- (3) 良 B (70～ 79) GP=2
- (4) 可 C (60～ 69) GP=1
- (5) 不可 D (0～ 59) GP=0

(GPAの種類及び計算方法)

第5条 GPAは、次の各号に区分し、当該各号に定める方法により計算する。この場合において、計算値は、小数点以下第2位を四捨五入して表記する。

(1) 学生ごとGPA

ア 学期ごとGPA

一学期の、一授業科目の成績評価で得たGPに、当該一授業科目の単位数を乗じる計算を、当該一学期に成績評価を受けた授業科目分に行い、その合計を、当該一学期に成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して算出する。

イ 通算GPA

入学時からの現在の学期までの、一授業科目の成績評価で得たGPに、当該一授業科目の単位数を乗じる計算を、入学時からの現在の学期までに成績評価を受けた授業科目分に行い、その合計を、入学時からの現在の学期までに成績評価を受けた授業科目の単位数の合計で除して算出する。

(2) 授業科目ごとGPA

一授業科目の履修学生のGPの合計を、当該一授業科目の履修学生数で除して算出する。

(3) 学部等ごとGPA

一学期における授業科目ごとGPAの学部等の合計を、学部等で当該一学期に開講されたGPA対象授業科目数の合計で除して算出する。

(4) 学科等ごとGPA

一学期における授業科目ごとGPAの学科等の合計を、学科等で当該一学期に開講されたGPA対象授業科目数で除して算出する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧に掲載し公表

<https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/binran.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学部教育の教育目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	佐賀大学
設置者名	国立大学法人佐賀大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.saga-u.ac.jp/koukai/kokaizaimu.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.saga-u.ac.jp/koukai/kokaizaimu.html
財産目録	-
事業報告書	https://www.saga-u.ac.jp/koukai/kokaizaimu.html
監事による監査報告(書)	https://www.saga-u.ac.jp/koukai/kokaizaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:国立大学法人佐賀大学中期計画	対象年度:令和4年度~9年度)
公表方法:ホームページ	(https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokuhyokeikaku.html)

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ	(https://www.saga-u.ac.jp/hyoka/gakugai/hyouka.html)
-------------	---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ	(https://www.saga-u.ac.jp/hyoka/gakugai/hyouka.html)
-------------	---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokutekigakubu.html) (概要) 教育学部は、学校教育課程幼小連携教育コース及び小中連携教育コースにより構成し、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html) (概要) 学部教育の目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html) (概要) 学部の学位授与の方針の達成のために教育課程の編成、教育内容や方法、学修成果の評価基準を定め、公表している。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubu_ap_new.html) (概要) 【佐賀大学の求める入学者】 佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。 佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。 佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。 各学部の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、上記公表方法のURLを参照ください。
学部等名 芸術地域デザイン学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokutekigakubu.html)

(概要) 芸術地域デザイン学部は、芸術で地域を拓き、芸術で世界を拓く人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部の教育目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部の学位授与の方針の達成のために教育課程の編成、教育内容や方法、学修成果の評価基準を定め、公表している。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubu_ap_new.html)
(概要) 【佐賀大学の求める入学者】 佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。 佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。 佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。 各学部の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、上記公表方法のURLを参照ください。

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokutekigakubu.html)
(概要) 経済学部は、経済学・経営学・法律学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済社会における問題を分析し解決できる人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)

(概要) 学部の教育目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部の学位授与の方針の達成のために教育課程の編成、教育内容や方法、学修成果の評価基準を定め、公表している。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubu_ap_new.html)
(概要) 【佐賀大学の求める入学者】 佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。 佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。 佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。 各学部の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、上記公表方法のURLを参照ください。
学部等名 医学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokutekigakubu.html)
(概要) 医学部に課せられた教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応える良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与する。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部の教育目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)

(概要) 学部 of 学位授与の方針 of 達成のために教育課程 of 編成、教育内容や方法、学修成果 of 評価基準を定め、公表している。
入学者 of 受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubu_ap_new.html)
(概要) 【佐賀大学 of 求める入学者】 佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術 of 修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。 佐賀大学 of 教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。 佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。 各学部 of 入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー) は、上記公表方法 of URL を参照ください。
学部等名 理工学部
教育研究上 of 目的 (公表方法：https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokutekigakubu.html)
(概要) 理工学部は、幅広い教養と科学・技術 of 専門的な素養を持ち、社会 of 広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了 of 認定に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部 of 教育目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果 of 達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定 of 単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会 of 議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。
教育課程 of 編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部 of 学位授与の方針 of 達成のために教育課程 of 編成、教育内容や方法、学修成果 of 評価基準を定め、公表している。
入学者 of 受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubu_ap_new.html)

(概要) 【佐賀大学の求める入学者】 佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。 佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。 佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。 各学部の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、上記公表方法のURLを参照ください。

学部等名 農学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.saga-u.ac.jp/koukai/mokutekigakubu.html)
(概要) 農学部は、農学及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえうる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部教育の目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kyouikuhousin.html)
(概要) 学部の学位授与の方針の達成のために教育課程の編成、教育内容や方法、学修成果の評価基準を定め、公表している。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.sao.saga-u.ac.jp/gakubu_ap_new.html)
(概要) 【佐賀大学の求める入学者】 佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。 佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。 佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できる

ことを人生目標とする学生を求めています。
各学部の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、上記公表方法のURLを参照ください。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：佐賀大学ホームページ
<https://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/g08.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6 人	—					6 人
教育学部	—	24 人	17 人	3 人	2 人		46 人
大学院	—	5 人	5 人				10 人
芸術地域デザイン学部	—	15 人	9 人				24 人
経済学部	—	17 人	10 人	1 人		2 人	30 人
医学部	—	44 人	36 人	6 人	94 人		180 人
附属病院	—	5 人	9 人	26 人	78 人		118 人
理工学部	—	59 人	45 人	6 人	16 人		126 人
農学部	—	27 人	19 人	2 人	5 人		53 人
その他	—	9 人	23 人	2 人	9 人		43 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		185 人					185 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ（ https://www.facultysearch.admin.saga-u.ac.jp ）					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育の質的保証の実現、中期目標・中期計画に掲げる教育に関する目標や本学の教育目的・目標を達成するために、教育開発推進センターではアクティブ・ラーニングなどの教育手法の導入・外部アセスメント試験の活用、学内・外の ICT 活用教育の研修・情報発信拠点である ICT 教育推進室では e ラーニングや反転授業の導入などの ICT 活用教育の導入を支援する研修会を実施し、教育内容や教育方法の改善に向けて全教員向けの FD（新任教員研修会も含む）を組織的に実施している。 また、各学部等又は個々の教員においても、同様の目的で FD を実施し、学部での教育改善に向けて取り組んでいる。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

[illegible]

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	126 人 (100%)	11 人 (8.7%)	108 人 (85.7%)	7 人 (5.6%)
芸術地域デザイン学部	109 人 (100%)	17 人 (15.6%)	82 人 (75.2%)	10 人 (9.2%)
経済学部	267 人 (100%)	5 人 (1.9%)	236 人 (88.4%)	26 人 (9.7%)
医学部	162 人 (100%)	0 人 (0%)	158 人 (97.5%)	4 人 (2.5%)
理工学部	467 人 (100%)	222 人 (47.5%)	225 人 (48.2%)	20 人 (4.3%)
農学部	159 人 (100%)	57 人 (35.8%)	98 人 (61.6%)	4 人 (2.5%)
合計	1290 人 (100%)	312 人 (24.2%)	907 人 (70.3%)	71 人 (5.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 国公立学校教職員、佐賀県庁、福岡市役所、日本年金機構、福岡県庁、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、(株)福岡銀行、国立大学法人 佐賀大学、(株)佐賀銀行、(株)西日本シティ銀行、九州旅客鉄道(JR九州)(株)、国税庁 福岡国税局、熊本県庁、積水ハウス(株)、(株)ミゾタ、佐賀市役所、(株)学映システム、(株)佐賀電算センター、楽天カード(株)、(株)久原本家グループ本社、(株)九電工、(株)システムライフ、日化エンジニアリング(株)、(株)三井ハイテック、(株)ドコモCS九州、(株)スチームシップ、ローム・アポロ、長崎県庁				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	125 人 (100%)	115 人 (92.0%)	9 人 (7.2%)	0 人 (0.0%)	1 人 (0.8%)
芸術地域デザイン学部	119 人 (100%)	100 人 (84.0%)	15 人 (12.6%)	3 人 (2.5%)	1 人 (0.8%)
経済学部	262 人 (100%)	240 人 (91.6%)	13 人 (5.0%)	8 人 (3.1%)	1 人 (0.4%)
医学部医学科	106 人 (100%)	89 人 (84.0%)	14 人 (13.2%)	3 人 (2.8%)	0 人 (0.0%)
医学部看護学科	60 人 (100%)	60 人 (100%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
理工学部	516 人 (100%)	407 人 (78.9%)	88 人 (17.1%)	20 人 (3.9%)	1 人 (0.2%)
農学部	159 人 (100%)	149 人 (93.7%)	6 人 (3.8%)	4 人 (2.5%)	0 人 (0.0%)
合計	1,347 人 (100%)	1,160 人 (86.1%)	145 人 (10.8%)	38 人 (2.8%)	4 人 (0.3%)

(備考) 退学理由は、進路変更が一番多い。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

学生に対して、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を明示することは、「佐賀大学学則」および「佐賀大学における学修成果にかかる評価の方法と基準の周知及び成績評価に関する情報の開示に関する要項」にて定められている。各授業科目の担当教員は、「シラバス作成の手引き」に沿って、必要な事項を記載した授業計画（シラバス）を作成する。作成したシラバスは、「シラバスの点検及び改善に関する要項」に基づいて組織的に点検・修正され、佐賀大学教育委員会によるサンプル調査等の検証を受ける。上記によって内容の確認を行ったシラバスを当該年度の前年度3月末日を目途に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各授業科目の担当教員は、シラバスに明示している成績評価の方法と基準に沿って、「佐賀大学学則」および「佐賀大学成績判定等に関する規程」に定める評点又は評価基準に基づき、厳格かつ適正に成績を判定している。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部の教育目的・目標に基づき、社会におけるニーズを踏まえた学位授与の方針を定め、公表している。学生が身につけるべき具体的な資質・能力と、その学習成果の達成を学位授与の方針としている。なお、定められた期間以上在学し、所定の単位を修得した者は学位授与の方針などを踏まえ、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	学校教育課程 (2022年度以前の 入学生)	134 単位	有	各学期 30 単位 年間 50 単位
	学校教育課程	132 単位		
芸術地域デザイン 学部	芸術地域デザイン 学科	124 単位	有	各学期 24 単位 年間 44 単位
経済学部	経済学科	124 単位	有	年間 48 単位 学期ごと 28 単位
	経営学科	124 単位	有	年間 48 単位 学期ごと 28 単位
	経済法学科	124 単位	有	年間 48 単位 学期ごと 28 単位
医学部	医学科（新カリキ ュラム）	215 単位	有	なし 単位
	医学科（旧カリキ ュラム）	192 単位	有	なし 単位
	看護学科	128 単位	有	1 年次：53 単位 2 年次：47 単位 3 年次：46 単位

理工学部 (新課程)	理工学科	124 単位	有	各学期 22～23 単位
理工学部 (旧課程)	知能情報システム 学科	125 単位	有	各学期 22 単位
	機能物質化学科	124 単位	有	各学期 22 単位
	電気電子工学科	128 単位	有	各学期 21～23 単位
農学部 (新課程)	生物資源科学科	126 単位	有	各学期 22 単位
農学部 (旧課程)	生物環境科学科	126 単位	有	各学期 22～23 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 : 公表していない		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : ○全学統一英語能力テスト (TOEIC) 結果 (https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/toeic.html) ○学生による授業アンケート (https://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/hyoka.html)		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : キャンパスマップ (<http://www.saga-u.ac.jp/gaiyol/campusmap/index.html>)
 体育施設 (<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/taiiku01.html>)
 附属施設・研究施設案内 (<http://www.saga-u.ac.jp/institution/>)
 休息を行う環境 (<http://www.saga-u.ac.jp/koukai/kyusoku.html>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
教育学部	学校教育課程	535,800 円	282,000 円		
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科				
経済学部	経済学科				
	経営学科				
	経済法学科				
医学部	医学科				
	看護学科				
理工学部	知能情報システム学科				改組により 4 学年のみ在籍。
	機能物質化学科				改組により 4 学年のみ在籍。
	電気電子工学科				改組により 4 学年のみ在籍。
	理工学科				
農学部	生物環境科学科				改組により 4 学年のみ在籍。
	生物資源科学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ○新入生アドバイザー 新入生に対し、履修の選択や登録をはじめとする修学上の支援をしている。 ○学習アドバイザー 学生によるピア・サポートで、上級学生が下級学生に対して自学自習のポイント、日々の学習上の悩み等の相談に応じることにより、大学での学習内容や方法が分からないなどの悩みを抱えている学生を支援している。 ○障がい、病気のある学生への支援 支援を希望する障がい、病気のある学生に対して、学習サポーター（ノートテイカーを含む）、キャンパスライフサポーター等を配置し、修学等の支援をしている。 ○チューター（担任）によるラーニング・ポートフォリオを活用した修学指導 修学、進路選択、心身の健康などの問題について、教員が相談役となり、学生が充実した学生生活を送れるようチューター（担任）制度を導入し、修学支援等を実施している。ラーニング・ポートフォリオには学習状況や日常生活、学習目標・計画の達成状況や自己評価を入力してもらい、チューターは個別面談を実施し、必要に応じてアドバイスをしている。 ○単位互換制度 大学コンソーシアム佐賀の加盟大学やサイバー大学と単位互換協定を締結し、それぞれが提供する授業科目を履修することができ、一定の範囲において卒業要件単位として認定できるなど多様な学修機会の提供をしている。 ○新入生オリエンテーション 新入生に対して、学生生活や就職、教務関係、システムの利用方法など入学後に充実した学生生活を送れるよう説明を実施している。また、学部によっては新入生だけではなく、進級する学生に対してもオリエンテーションを実施している。 ○能力別・習熟度別クラス分け 教養教育センターで開講している一部の英語の授業科目において、全学統一英語能力テ

ト（TOEIC）の結果を利用して能力別・習熟度別クラス分けを行い、学生の能力に合わせた授業を実施している。

○リメディアル教育（入学前教育）

テキストや動画教材、先輩学生や他の合格者との交流会、教養科目の先行履修等を通じて大学4年間の学びを理解し、大学での目標を設定することで、高校生から大学生への移行といった高大トランジションの達成させることを目的とした全学部統一の「アドミッションセンタープログラム」を提供している。

令和6年度のプログラム実施後の5件法によるアンケート調査では、プログラムの満足度について、肯定的な回答（満足、やや満足）が96.8%であり、どちらでもないが3.2%で、否定的な回答（やや不満、不満）は0%であった。また、学習意欲を維持・向上できたのかについての質問についても、肯定的な回答（そう思う、ややそう思う）が92.7%で、どちらでもないが6.5%、否定的な回答（ややそう思わない、そう思わない）はわずか0.8%と、満足度が高く、学習意欲の維持・向上にも有効なプログラムであることが示唆された。

○オフィスアワー

授業や学生生活についての質問や相談に備えて、原則として教員が研究室等に待機するためのオフィスアワーの時間帯を設定している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

各学部の教育目的に応じて「佐賀大学キャリアガイダンス実施方針」に基づき、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことを目的として、正課教育ではキャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）を含めた授業を実施している。

また、正課外教育及び指導では、指導教員やチューター教員を中心に、学生の希望する進路に応じた支援を紹介している。進学希望者には、指導教員による進学指導を実施し、就職希望者には、ウェルビーイング創造センターキャリア形成支援部門を中心に就職支援ガイダンスを定期的に実施するとともに、各学部でもそれぞれの特色を考慮した支援を実施している。

低学年からキャリア教育の充実を図り、キャリアデザインの必要性や社会の動向を知り、自分の将来について具体的に考える契機となるべく、教養教育科目「キャリアデザイン」、「ライフデザインとセルフ・リーダーシップ」を開講している。

ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門で専門の相談員による就職相談を実施し、学生の進捗状況に合わせて幅広く進路の相談を受け付けている。また、公務員や教員を目指す学生向けには外部委託による就職試験対策講座を開講し、学生の志望に合わせて支援プログラムを実施している。そのほかに学内合同企業・業界研究セミナーを実施し、進路選択の視野を広げる機会を提供している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

（ウェルビーイング創造センター）

ウェルビーイング創造センター学修支援部門が特別な支援を必要とする学生に対し、授業の履修や定期試験の受験、学生生活、施設設備、講義受講、教員とのコミュニケーションなど、学生と教職員の間をコーディネートする形で、合理的配慮の提供を組織的に行っている。一部の学生には個別支援計画ファイルを作成して、個々に応じた支援を実施している。

なお、入学前の事前相談も行っており、入学式、入学オリエンテーションに向けた合理的配慮を行っている。

（保健管理センター）

保健管理センターでは、心身の健康について、毎年実施している学生定期健康診断で身体の状態の確認と質問紙によるメンタルヘルスのスクリーニングを実施している。全体の点数が高い、または希死念慮など特定の項目に点数が高い学生には、カウンセラーによる生活状況の確認を行っている。障害や病気を持つなど修学上、配慮が必要と思われる学生については、ウェルビーイング創造センター学修支援部門と連携して対応を行っている。

保健管理センターホームページには、相談窓口のページがあり、身体面の相談、精神面（メンタルヘルス）の相談、大学内の他の相談機関についても連絡先、相談方法などの情報を提示している。保健管理センターでは、医師、保健師、看護師、カウンセラーが相談に応じている。状態により受診が必要な場合には、医療機関への紹介を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ

<https://www.saga-u.ac.jp/koukai/education.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F141110111135
学校名（〇〇大学 等）	佐賀大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	国立大学法人佐賀大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		702人（52）人	706人（61）人	－
内 訳	第Ⅰ区分	363人	362人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	182人	166人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	105人	117人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	52人	61人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－
合計（年間）				754人（76）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	15人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	-	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-	人	人
計	29人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	29人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	-	人	人
G P A等が下位4分の1	-	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	人	人
計	112人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。